

令和4(2022)年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

Table with 4 columns: 施設名称, 施設所在地, 指定期間, 施設区分, 事業実施型. Values include 大安場史跡公園, 郡山市田村町大善寺字大安場160, 2019.4.1~2024.3.31, 指定管理者, 公益財団法人郡山市文化・学び振興公社.

Table with 8 columns: 評価項目, 評価基準, 配点(標準点), 指定管理者自己評価, 自己評価コメント, 市評価, 市評価コメント, 特記事項.

Table I: 市民の平等な利用の確保. Rows include 1 平等利用, 2 危機管理・事故・災害等への対策・対応, and a 小計 row.

II 施設の効用の最大限の発揮

Table II: 施設の効用の最大限の発揮. Rows include 3 管理運営方針, 4 事業実施状況, 5 広報・PRの実施, 6 接客態度, 7 苦情・要望の把握・対応, 8 市・関係機関・類似施設・地元等との連携, 9 利用者アンケートへの対応状況, and a 小計 row.

III 管理経費の縮減

Table III: 管理経費の縮減. Rows include 10 帳簿管理・経理, 11 収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況, and a 小計 row.

IV 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤

Table IV: 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤. Rows include 12 人員・研修体制, 13 収支状況, 14 連絡調整, and a 小計 row.

(様式2)

V 適切な施設の維持管理							
15	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に実行されているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。(修繕を含む。)	10(6)	8	法定点検や設備点検は適切に実施している。3月16日の福島県沖地震後の施設点検で1号墳墳頂に亀裂が生じており、立ち入り禁止措置を講じ、ウェブサイトにも掲示している。	8	
16	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	4(3)	4	建物及び敷地内の危険箇所の把握や安全点検は職員が行い、随時職員に報告し情報共有及び確認を行っている。危機管理マニュアルがある。施設管理要綱を策定して運用している。修繕の実績、営繕要求の一覧、修繕予定リストなどがある。1号墳墳頂の亀裂は前項で記載した通り、安全衛生委員会を設置し、安全衛生管理要綱を策定している。	4	遊具等講習会に参加した職員が他の職員向けの勉強会を開催して周知を図るなど、安全の確保に対し、積極的に取り組むこととした。
17	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	4(3)	4	建物内は毎日清掃し、美化に努めている。園内は巡回してごみ拾いや不審物の有無などの確認を行っている。	3	清掃、衛生、美観維持は仕様書・提案どおりの内容にとどまっているため「3(標準)」の評価とする。
18	備品の管理	備品が適切に管理されているか。	2(1)	2	備品については適切に管理を行っている。	2	
19	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。(例：持ち込み物品等管理簿、表示等)	2(1)	2	持込物品については適切に管理を行っている。	2	
20	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2(1)	2	法令遵守で点検や報告を行っている。	2	
21	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2(1)	2	マニュアルに従い、適切に管理している。個人情報ハンドブックを全員が持っている。情報セキュリティ要綱の策定運用をしている。	2	
小計			26	24		23	

VI 雇用及び地域経済への配慮							
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。労働条件への配慮は十分か。	3(2)	3	法令遵守で労働者への配慮は行っている。就労訓練、旧姓使用など配慮がある。コロナ休暇、ワクチン接種なども全職員共通で取得可能である。男性育児休暇の拡充を行い、適年ノーネクタイ/スニーカー導入している。	3	
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。再委託は計画通り適正に行われているか。市内事業者への再委託を行っているか。	3(2)	3	再委託は展示関係の点検以外は市内の業者に発注している。市外採用の場合も広域圏内に行っている。	3	
小計			6	6		6	

VII その他							
24	活動指標	設定した指標の目標値(ガイダンス施設開館日、情報誌及びウェブサイト等による情報発信)を達成しているか。	2(1)	2	開館日は100%。情報発信は175%で達成できた。	2	ガイダンス施設開館日数314日/310日 ウェブサイト情報発信105回/60回
25	成果指標	設定した指標の目標値(ガイダンス施設入場者数)を達成しているか。	2(1)	1	感染症対策のため団体利用の件数も減っており、入館者は57.2%であった。	1	コロナ対策ガイドラインにより定員を制限して事業を実施しているため、「1(標準)」の評価とする。
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか。地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか。	2(1)	2	管理運営に於いては積極的に市へ協力している。地域や民間事業者とも円滑な関係を構築している。	2	ガイダンス施設入場者数29,160人/51,000人
小計			6	5		5	
合計点			100	92		90	

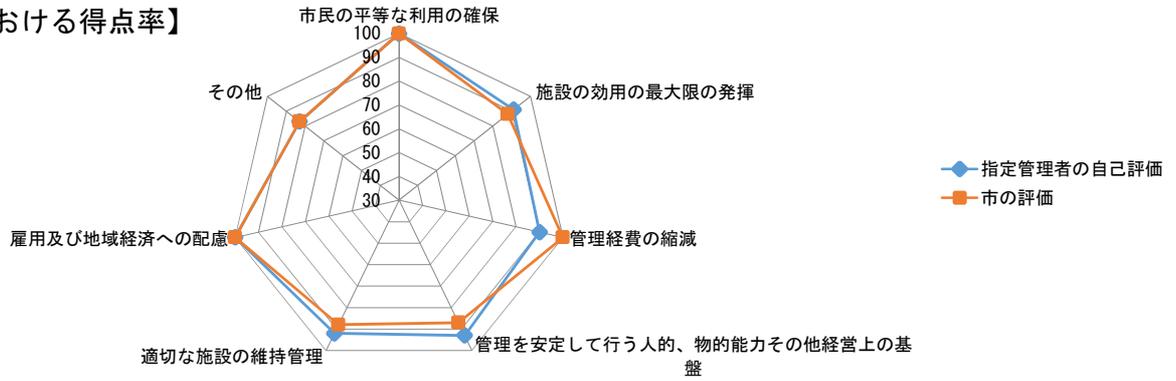
実績						
	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	合計
指定管理料(千円)	72,586	70,889	71,566	72,245		287,286
利用料金収入(千円)	16	0	0	0		16
利用者数(人)	50,560	31,834	29,953	29,160		287,302
二次評価(市の評価)	A	A	A	S		
備考		4月18日～5月18日まで、コロナ対策で臨時休館。2月14日～17日まで福島県沖地震後の施設確認のため臨時休館。(臨時休館日数29日間)	8月23日～9月29日まで、まん延防止等重点措置のため臨時休館。3月17日福島県沖地震後の施設確認のため臨時休館。(臨時休館日29日間) 3月17日より福島県沖地震で1号墳墳頂に亀裂が入り、立ち入り禁止	3月16日に発生した福島県沖地震による墳頂部亀裂のため3月18日から立ち入り禁止。		

サービス向上対策

・小中学校の夏休み・冬休み期間中の休館日を特別開館して、利用者の利便性の向上を図った。

・手指消毒用アルコール、CO2センサーの設置及び学習室使用後の消毒の徹底。

【各評価区分における得点率】



【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
S	92	<p>【総合評価（評価できる点等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイトおよびFacebook・LINE等から館の概要等を広範囲に多くの方に伝えることができ、効果的な広報ができた。 ・BCP（業務継続計画）、施設管理要綱、情報セキュリティ要綱、施設の換気対策を策定して運用している。 ・新型コロナウイルス感染症のため入館者は減少したものの、市内外の小中学校の児童生徒を受け入れたことをはじめ、施設の効用は最大限に発揮できている。 ・施設を管理運営していく上での職員配置は十分であり、適切に行うことができた。 ・公民館1施設で出張展示を行い、市施設と積極的に連携を図った。 ・管理経費の縮減も概ね達成できており、適切に施設を維持管理できている。 ・条例や規則に基づき市民の平等な利用の確保に努めるとともに、ハンディキャップを負った来館者へも十分なサービスが提供できた。 ・雇用や地域経済への配慮は十分に行われている。 ・感染症対策のための職員の労働環境を充実させている。 ・3月16日の福島県沖地震後の施設確認で、1号墳墳頂に亀裂が生じて立ち入り禁止にしていることを、ウェブサイトで公表して注意喚起している。 <p>【次年度に向けて改善が必要な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡山市が推進するSDGsをさらに取り入れ、将来世代のニーズにあった一施設となるよう取り組んでいく。 ・開園以来、年数が経っており施設の老朽化が進んでいるので、異常な事象を素早く察知して対応を早く行っていく。 ・団体利用者はコロナの影響もあり以前より少ないが、アフターコロナの中で、個人利用客の促進を図り、関係団体へも積極的なはたらきかけを行う。 ・他施設での出張展示や相互協力をを行い、施設のPRをして誘客に努める。 ・来館者にまた来たいと思っていただけるよう、接客について職員の意識向上を図っていく。 ・入館者数及び事業収益の目標を達成するため、事業の内容や広報について検討していく。 ・古墳の階段の腐朽が進んでおり、応急処置を行うことが必要（郡山市へは営繕要求を行っている）。

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
S	90	<p>【総合評価（評価できる点等）】</p> <p>広報・PRの実施について、R4年度からはLINEによる情報発信を始めるなど提案内容を上回る取り組みが見られた。また、DXを活用した事業展開に向け「おうちでミュージアム」を作成するなど、新規事業開拓への意欲が見られた。</p> <p>収入確保・支出の適正化等、予算の執行状況についてはR4年度より市出版図書以外の図書販売も開始するなど、独自の収入確保の取組や複数業務の一括発注などに取組み、利用料金収入・事業収入の合計額の増額が10%以上を達成していることに加え、収支状況についても昨年度と比較して収入増、支出減いずれも達成している。</p> <p>秋の古墳まつり等のイベントにおいて地区商工会の出店等のタイアップを図るなど、地域との連携や地域経済へ配慮した取り組みが優れている。</p> <p>そのほか、地域の公民館へ自ら動きかけ企画展の実施に結び付けていることは、地域との連携や新事業の実施に向けた積極性が見られる。</p> <p>また、昨年度指摘した遊具等の講習会への参加については、参加者を講師とした勉強会を実施し他の職員への周知を図っており、改善を図るだけでなくさらなる充実が見られた。</p> <p>【次年度に向けて改善が必要な点】</p> <p>市との協議完了前に変更内容を公表した案件が2件生じており、事前協議の必要性について改めて理解し、徹底に努めること。</p> <p>講習等の実施に際し、ヘビーユーザーだけでなく、ライトユーザー向けの実施など幅広いニーズに対応した事業を展開するなど、ウィズコロナ・アフターコロナの中で更なる入場者の増加に取り組まれない。</p>

【改善のための行動計画】

行動計画
<p>【前年度の指摘事項】</p> <p>コロナの影響で実施出来なかった研修のうち、遊具等の講習会については委託事業者から話を聞く程度に留まったとのことであった。遊具については、利用者の多くが子供であることも踏まえ、不具合が事故につながる可能性が高く重要性が高いことから、施設内での勉強会など効果的な代替手段の確保が望ましい。</p> <p>また、事業実施について、ウィズコロナ・アフターコロナの視点に立った取組みの継続が望ましい。</p> <p>【改善対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内で遊具点検講習会に参加した経験のある者から、参加経験のない者へ、遊具点検のポイントなどを指導した。 ・ウィズコロナの視点に立った取組みとして、古墳まつりの際に屋外での競技会などを積極的に行うとともに、勾玉作り・火おこしの際、フェイスガード・消毒など万全な感染症対策をした上で体験を実施した。またアフターコロナの視点に立った取組みとしては、消毒を準備しながら、それまで中止していたイベントを段階的に復活させた。